



見どころ2

初公開のスケッチで晩年の夢二をひもとく

近年、約2年の外遊中に描いたスケッチが新たに発見されました。夢二の晩年に迫る貴重なスケッチの数々を、本展にて初公開します。

《ベルリンのアレクサンダー広場にて、6月24日》

1932-33(昭和7-8)年

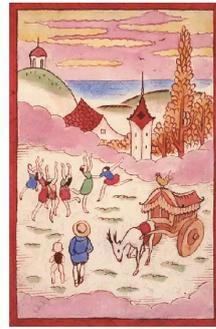
見どころ3

色あせることのない夢二の魅力を、約180点の作品から展観

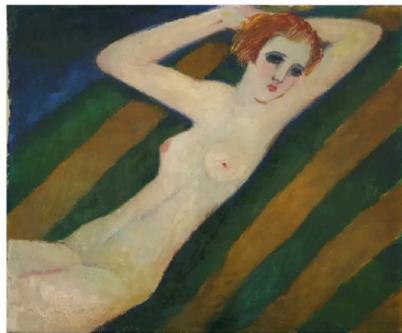
画家、詩人、デザイナーなど活躍の場を広げ、次代を切り拓くパイオニアとなった夢二。今もなお愛され続ける夢二の魅力を作品とともに辿ります。



《秋のいこい》1920(大正9)年



《おとぎの国》(雑誌『小学少年』第3巻第3号挿絵原画) 1921(大正10)年



《西海岸の裸婦》1931-32(昭和6-7)年



《立田姫》1931(昭和6)年



《化粧の秋》(雑誌『婦人グラフ』第1巻第6号表紙) 1924(大正13)年



左:《封筒「つりがね草」》大正期
右:《封筒「どくだみ」》大正期

展覧会名：生誕140年 YUMEJI展 大正浪漫と新しい世界

会 期：2025年7月6日(日)～8月17日(日)

時 間：10:00～19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)

会場：大分県立美術館 3階 展示室B

観覧料：一般 1,400(1,200)円 / 高校・大学生 1,200(1,000)円

- ・()内は前売および有料入場20名以上の団体料金。
- ・中学生以下は無料。
- ・大分県芸術文化友の会 ひび KOTOBUKIとTAKASAGOは無料(2回まで)
- ・障がい者保健福祉手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料。
- ・学生の方は入場の際、学生証をご提示ください。

主催：生誕140年 YUMEJI展大分実行委員会(公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館、大分合同新聞社)

共催：OBS大分放送

後援：大分県、大分県教育委員会、NPO 法人大分県芸術振、西日本新聞社、朝日新聞大分総局、毎日新聞社、NHK大分放送局、エフエム大分、J:COM 大分ケーブルテレコム、大分経済新聞

監修：岡部昌幸(帝京大学名誉教授、荏原 畠山美術館館長)

特別協力：公益財団法人両備文化振興財団 夢二郷土美術館

協力：竹久夢二学会

企画協力：産経新聞社

関連イベント

講演会「民衆による、民衆のための芸術「夢二」 — そのデモクラシーとロマンの源泉」

講師：岡部昌幸氏(本展監修者、帝京大学名誉教授、荏原 畠山美術館館長)

日時：2025年7月6日(日) 14:00~15:30

会場：大分県立美術館 2階 研修室

参加費：無料(要観覧券)

定員：80名

申込み：当館HPの申込みフォームからお申込みください。定員に達し次第、締切りとさせていただきます。

ギャラリートーク

開催日：2025年7月12日(土)、7月26日(土)、8月9日(土)、8月13日(水)、8月16日(土) 14:00~15:00

※予約不要・要観覧券

イブニングギャラリートーク

開催日：2025年7月11日(金)、7月25日(金)、8月8日(金) 18:00~19:00

※予約不要・要観覧券

※予定は変更になる可能性があります。最新情報は当館ホームページにてご確認ください。

開会式およびメディア向け内覧会のお知らせ

2025年7月6日(日) 開会式 9:15~9:45 内覧会 9:45~10:30

ご参加いただける方はお名前、ご所属、参加人数、電話番号をご記入の上、E-mailにて info@opam.jpまでお申込みください。

関連イベントについては、大分県立美術館の公式ウェブサイトをご覧ください。

生誕140年 YUMEJI展 大正浪漫と新しい世界

お問合せ：公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 大分県立美術館

学芸企画課(展覧会担当) 吉田

管理課広報担当 安東・山口

Tel 097-533-4500 E-mail:info@opam.jp